

## 総務政策委員会記録

開会年月日	令和3年12月23日
開会時刻	午前9時58分
閉会時刻	午前10時22分
出席委員名	◎品川幸久    ○福井輝夫    大西要一    鈴木豊司
	吉井詩子    岡田善行    西山則夫
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	大西要一    鈴木豊司
担当書記	奥野進司
審査議案	議案第92号 令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第10号） （総務政策委員会関係分）
	議案第102号 いせ市民活動センターの指定管理者の指定について 閉会中の継続調査案件について
説明員	総務部長、総務部参事、職員課長、危機管理部長
	その他関係参与

## **審査経過**

品川委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に大西委員、鈴木委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、去る12月20日の本会議において審査付託を受けた「議案第92号 令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第10号）中、総務政策委員会関係分」外1件を審査し、いずれの議案も全会一致で原案どおり可決すべしと決定し、委員長報告文の作成については正副委員長に一任することで決定した。

また、付託案件の審査終了後、閉会中の継続調査案件について、「防災対策に関する事項」、「ふるさと未来づくりに関する事項」、「公共施設マネジメントに関する事項」及び「総合計画推進事業に関する事項」とすることと決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時58分

### ◎品川幸久委員長

ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において、大西委員、鈴木委員の御両名を指名いたします。

本日御審査いただきます案件は、去る12月20日の本会議におきまして総務政策委員会に審査付託を受けました「議案第92号 令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第10号）中、総務政策委員会関係分」、「議案第102号 いせ市民活動センターの指定管理者の指定について」及び「閉会中の継続調査案件について」の3件であります。

お諮りいたします。

審査の方法については委員長に御一任願いたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

また、委員間の自由討議については、申出がありましたら随時行いたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

## **【議案第92号 令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第10号）（総務政策委員会関係分）】**

### ◎品川幸久委員長

それでは、「議案第92号 令和3年度伊勢市一般会計補正予算（第10号）中、総務政策委員会関係分」を御審査願います。

審査の便宜上、歳出から審査に入ります。補正予算書の14ページをお開きください。

款1 議会費を款一括で御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、款1 議会費の審査を終わります。

次に、16 ページをお開きください。16 ページから 19 ページの款2 総務費を款一括で御審査願います。当分科会の所管から除かれるのは、項1 総務管理費、目21 交通対策費です。

御発言はありませんか。

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

おはようございます。よろしく願いいたします。

人事管理費の公務災害補償経費の中でちょっとお聞かせ願いたいんですが、まず始めに、本年度の公務災害、通勤災害の発生件数をお聞かせ願えないですか。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

10月までの公務災害と通勤災害の件数なんですけれども、公務災害が7件、通勤災害が2件となっております。以上でございます。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

ありがとうございます。ちょっと確認をさせていただきたいんですが、毎年度決算時期に事務の概要のほうで発生状況を報告いただいています。令和元年には公務災害が22件で、通勤災害5件、それから令和2年におきましては公務災害25件で、通勤災害3件ということで報告をいただいておりますが、それにつきましては職員の公務災害もこの件数の中に含まれているのかということと、職員の関係ですね、それから今回の補正、これにつきましては職員の公務災害経費につきましては含まれていないということで確認させもらってよろしいですか。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

令和元年度の公務災害22件、それから通勤災害5件のうち、それに職員は含まれております。

それから、令和2年度の公務災害25件、通勤災害3件、これに職員の分は含まれてお

ります。以上でございます。

○鈴木豊司委員

予算についてはいかがですか、予算については。計上されておる予算。

◎品川委員長

鈴木委員、もう一度。

○鈴木豊司委員

すみません、委員長。

今回計上されております公務災害補償経費の中には職員の分は当然含まれていないというふうに理解しておるんですが、それでよろしいですか。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

委員のおっしゃるとおりでございます。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

これら過去2件の実績と本年度の予算を比較したときに、令和元年度におきましてはこの補償に要した経費が161万4,412円、それから令和2年度におきましては8万6,004円となっていたかと思えます。

本年度の補償に要する経費、予算につきましては570万8,000円と大変大きく膨らんでおるわけでございますけど、多額の補償を要するような大きな公務災害が発生をしているのかどうなのか、その辺りの状況につきまして説明をいただきたいと思えます。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

今回補正で上げさせていただいた500万円相当の部分、こちらが大きな部分になるんですけども、こちらの部分に関しましては、学校教育課のパートタイムの会計年度任用職員の通勤災害で、本年度支給する療養補償費、こちらを支給するための増額補正という部分が大部分を占めております。以上でございます。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

会計年度任用職員ということで、議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の定めによりましてですね、補償等がなされるというふうに思うんですが、今回の通勤災害の流れといいますか、事故の発生から補償に至る一連の流れにつきまして御説明をいただけないですか。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

まず、事故の発生は令和2年10月21日午後4時前後なんですけれども、先ほど申しました学校教育課のパートタイムの会計年度任用職員、ALTの方なんですけども、その方が仕事からの帰り、中村町国道23号線、中村町交差点辺りを大型のバイクで走行しておるところ、中央分離帯の縁石、こちらに接触しまして転倒いたしました。その際に左肩、右大腿部、それから膝を強打して複数の箇所の骨折、そのことにより長期入院、リハビリということになりました。

これを受けまして、入院期間は令和2年10月から令和3年2月まで約105日入院をしております。

これに関しまして、令和3年3月2日に三重県の公務災害補償等認定審査委員会、こちらのほうで認定をいただきまして、今回、支払いの金額は、令和2年10月から令和3年3月分までの514万1,795円、こちらの分を領収して支払うということになっております。以上でございます。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

はい、ありがとうございます。今回の通勤災害ですね、これ自損事故ということになるかと思うんですが、再発防止に関してどのような対応されたのかということと、ALTということでお聞かせいただきましたので、その間、児童生徒に対する影響というのか、その辺は何もなかったのかお聞かせ願えないですか。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

事故に関しては安全衛生委員会の部会、そちらのほうでまず情報を共有しながら、事故についての再発防止等の協議もしておりますし、さらに安全衛生委員会、そちらのほう

でも事故を共有をして、今後、事故が起こらないような対応、それから折に触れまして、職員課からも交通安全についての周知、そういうのをしております。

それから、ALTの方が休まれたということに対する学校への影響なんですけども、ALTの方が伊勢市には現在17名おります。その中で調整をさせていただきまして、教育委員会等にも確認をさせていただいたところ、英語教育、そちらには、生徒さんには大きな影響がなかったと聞いております。以上でございます。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

最後にさせてもらいたいと思うんですが、交通事故につきましては損害賠償の絡みで議会のほうにも報告をいただいておりますけれども、公務災害に関しましてはいかなる場合におきましても全く報告がないわけでございますよね。報告義務はないかもしれませんが、このような大きな公務災害につきましてはこちらへも報告があってもいいのではないかなというふうに思っておりますが、その辺の当局のお考えをお聞かせください。

◎品川幸久委員長

職員課長。

●上田職員課長

確かに今回の事故、かなり大きくて、金額のほうもかなり大きい額となっております。まずは先ほど鈴木委員のほうからもおっしゃっていただきましたけども、事務の概要書でも公務災害の発生状況を書かさせていただいておりますけれども、その中では発生件数とか認定件数、休暇の取得状況しか記載をしております。ここの部分、もう少し、いわゆる条例での適用の職員であるとか状況が分かるような状況、そういうほうも工夫させていただきたいと思っておりますし、あと金額、それから市民の影響も考えながら、今後そういう方向で、そういう報告の部分も研究させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

◎品川幸久委員長

よろしいですか。

他に御発言ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

◎品川幸久委員長

発言もないようですので、款2総務費の当委員会関係分の審査を終わります。

次に、22ページをお開きください。

款3民生費を御審査願います。なお、当委員会の所管は、22ページの項5人権政策費のみです。

御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、款3 民生費の当委員会関係分の審査を終わります。  
次に、36 ページをお開きください。  
款10 消防費を款一括で御審査願います。  
御発言はありませんか。

◎品川幸久委員長

鈴木議員。

○鈴木豊司委員

災対策本部の設置状況につきまして一点お尋ねさせていただきたいと思います。  
まず、災対本部の設置につきましては、令和元年度8回、令和2年度7回ということであったかと思うんですが、今年度、何回になる見込みでしょうか。

◎品川幸久委員長

危機管理部長。

●宮本危機管理部長

今年度の災害対策本部の回数はですね、現在2回。8月と9月、共に大雨、土砂災害の警報が出たときでございます。以上です。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

災害対策本部の設置にかかります経費につきましては、今回の補正後2,778万2,000円になろうかと思えます。前年度の決算額が1,618万6,000円程度。それと比較いたしますと、大変大きく増額をされることとなります。これにつきましては災害対策本部の体制に何か変化があったのか。この1,160万円弱、また1.6倍、1.7倍になるわけでございますが、災害対策本部の設置経費が増えた要因といいますか、それはどこにあるのか、それだけ教えていただけないですか。

◎品川幸久委員長

危機管理部長。

●宮本危機管理部長

この項目で、災害対策本部設置経費で人件費が増えておるところでございますが、先ほど申しましたように、回数的には2回でございましたが、この中には地域の防災講習とか訓練の、そういったところの人件費もここに含んでおりまして、またそれと新た

な図上訓練のマニュアルの作成とか、そういったものもこの中に含んでおるといところでございます。以上です。

◎品川幸久委員長  
鈴木委員。

○鈴木豊司委員

訓練等増えておるといのは理解させてもらうんですが、災対本部の設置が例年よりずっと少ないような状況の中で前年度の1.7倍になっておるといのがいかなものかなというふうに思うんですけど、その要因というものがそういう訓練等だけなんでしょうか。もう一度お願いします。

◎品川幸久委員長  
危機管理部長。

●宮本危機管理部長

その訓練とか講習会もですね、コロナの感染状況の対策を兼ねて、そういった地域への対応も増えておるところでございます。

また今回、南海トラフ地震が迫る中での新たな考え方っていうか、訓練を含めてそういったマニュアル作成にも今取り組んでおるところ、それから、避難所でのコロナの感染対策の見直しとかそういったところがございまして増えた要因でございます。以上です。

◎品川幸久委員長  
暫時休憩いたします。

休憩 午前 10 時 13 分

再開 午前 10 時 14 分

◎品川幸久委員長  
休憩を閉じ会議を続けます。  
当局の答弁を求めます。  
職員課長。

○上田職員課長

今回増えている部分に関しましては時間外が大きな部分を占めております。恐らく、当然、災対本部を開けたりする時間も影響がある、そういう部分もあって、特に時間外が増えているという部分が要因だと考えております。以上でございます。

◎品川幸久委員長  
他に御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、款 10 消防費の審査を終わります。

次に、40 ページをお開きください。

款 11 教育費を御審査願います。なお、当委員会の所管は、40 ページの項 5 社会教育費、目 3 文化振興費のみです。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、款 11 教育費の当委員会関係分の審査を終わります。

以上で歳出の審査を終わります。

次に、12 ページにお戻りください。

歳入の審査を一括でお願いいたします。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、以上で歳入の審査を終わります。

次に、1 ページにお戻りください。

条文の審査に入ります。条文の審査は条文一括でお願いいたします。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、条文の審査を終わります。

以上で議案第 92 号中、総務政策委員会関係分の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第 92 号 令和 3 年度伊勢市一般会計補正予算（第 10 号）中、総務政策委員会関係分」については、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。

そのように決定をいたしました。

## 【議案第 102 号 いせ市民活動センターの指定管理者の指定について】

◎品川幸久委員長

次に、条例等議案書の 11 ページをお開きください。

11 ページから 12 ページの「議案第 102 号 いせ市民活動センターの指定管理者の指定について」を御審査願います。

御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、以上で議案第 102 号の審査を終わります。

続いて討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

ないようですので、以上で討論を終わります。

お諮りいたします。

「議案第 102 号 いせ市民活動センターの指定管理者の指定について」は、原案どおり可決すべしと決定いたしまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

以上で付託案件の審査は全て終了いたしました。

お諮りいたします。

委員長報告文の作成については正副委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。

## 【閉会中の継続調査案件について】

◎品川幸久委員長

続きまして、「閉会中の継続調査案件について」を御協議願います。

これまで常任委員会におきましては、閉会中の継続調査項目としてお手元に配付の常任委員会の継続調査案件一覧表のとおり調査をまいりました。当委員会におきましても閉会中の継続調査案件を定めたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。

それでは、閉会中の継続調査項目として、委員長から提案をさせていただきます。

一つ目に「防災対策に関する事項」、二つ目に「ふるさと未来づくりに関する事項」、三つ目に「公共施設マネジメントに関する事項」、四つ目に「総合計画推進事業に関する事項」を提案いたします。

このことにつきまして、御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御発言もないようですので、「防災対策に関する事項」、「ふるさと未来づくりに関する事項」、「公共施設マネジメントに関する事項」、「総合計画推進事業に関する事項」について、閉会中の継続調査項目とすることに決定し、会議規則第109条の規定により議長に申出をいたしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。  
議長。

○世古明議長

すみません。先ほど、常任委員会の継続調査案件を決定していただきました。今じゃないですけど、継続調査案件ですので調査が完了したらそこで終わるわけですけど、これを4年間、常任委員会で調査して、調査が完了しない場合はですね、改選前のときに一回まとめというか、していただくと、また4年後改選して新しく常任委員会で決めるときの参考になるかと思っておりますので、まだすぐではないですけどそのようなことも考えていただけたらなと思っております。私の意見でございます。

◎品川幸久委員長

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時21分

再開 午前10時22分

◎品川幸久委員長

休憩を閉じ会議を続けます。

議長の御発言を了としてそのようにしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように決定をいたしました。  
これもちまして総務政策委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時22分

上記署名する。

令和3年12月23日

委員長

委員

委員